

# 進むICT活用に 高まる情報モラル教育の必要性

# ネットモラル

**GIGAスクール構想で授業が変わり始めている福岡県久留米市。一人一台端末活用が進むにつれ、先生方は情報モラル教育の必要性を、強く感じているそうです。**

## ICT活用が進むにつれ 情報モラル教育の 必要性が高まる

GIGAスクール構想が始まって「まずは使ってみよう」からスタートした久留米市。一人一台端末の活用が進む中、今年度は、子ども主体の授業への転換を目指しています。子ども一人ひとりが、自分の課題や関心に応じて、ICTを主体的に活用して学び、課題を解決していく。先生主導から「子どもを主語」にした子ども主導の授業へと変えていくこととしています。情報社会を生きていくために役立つ力を、学校教育で育んでほしいからです。子どもたちが主体的にICTを活用するにつれ、情報モラル教育の必要性を先生方は強く感じています。ICTを活用した学習が進むとその一方で、目的外の利用が増えるなどのトラブルが起きることもあります。

そこで、久留米市では、情報モラルを育むために、様々な施策に取り組んでいます。

まず「パソコンの安全な使い方」を、久留米市が制作・発行。端末を使う目的や使い方、思いやり、パスワードなど、ICTを安全に使うために気をつけるべきことを一枚にまとめ、教室の壁などに掲示しています。



久留米市教育委員会 教育ICT推進課 指導主事 **堤 佑太** 先生

この「パソコンの安全な使い方」は、小学校版・中学校版として家庭版の三種類があり、内容は毎年更新されています。情報モラルの課題は、日々変化していくからです。たとえば、GIGA一年目に比べ、現在は「著作権・肖像権」の指導に力を入れて

います。端末を使ってインターネットで情報を調べ、レポートをまとめるような活動が日常化し、他者の著作物を引用する機会が増えたりします。



▲久留米市(中学校用)学校版 学習用パソコンの安全な使い方

## 情報モラル教育でも 「子どもを主語」に

情報モラル教育でも、「子どもを主語」にすることを心がけています。先生が「これはダメ。こうしなさい」と指示するのではなく、どうすればよいかを子どもたち自身に考えさせるようにしています。

自分で考えるためには、土台となる正しい知識が欠かせません。そこで久留米市では、「事例で学ぶNetモラル」を、全小中学校に導入し、学んでいます。子どもたちに考えさせたい課題について、授業の中で事例アニメーションを視聴し、クラスで話し合っています。一つ一つの事例アニメーションが子どもにとってわかりやすく問題点が把握しやすいので、授業の一場面で学ぶことができます。直近の課題に合わせて、見てほしい事例アニメーションを例示し、活用を勧めています。

最近では、家庭で保護者といっしょにNetモラルを見て学ぶことも増えてきました。久留米市では端末の持ち帰りを推進していますので、保護者といっしょに情報モラルを学んでもらう機会をつくってもらっています。おかげで、家庭内で端末やインターネットの正しい使い方などについて、話すことが増えていっています。

## ICT活用を進めるには 保護者の理解と 協力は不可欠

保護者への情報モラルに関する情報発信や啓発にも、力を入れていきます。きっかけはGIGA初年度に端末の持ち帰りを始めた際のことでした。「本心に学習に使っているの?」「保護者は何をすればいいの?」といった不安の声が、学校や教育委員会に寄せられたのです。

ICT活用を進める上で、保護者の理解と協力が欠かせません。そこで、広教の協力を得て、保護者向けに久留米市オリジナルの「情報モラルオンデマンド動画」を、インターネットで配信し始めました。すると、反響が大きく、「子どもといっしょに見ました。こういうことを知りたかった!」「家庭でも、正しい使い方をいっしょに考えていきますよー」など、好意的な反応が返ってきました。保護者から「発達段階が異なるので、小学生の保護者向けと中学生の保護者向けの動画を、それぞれ作ってほしい」との要望が寄せられたので、この夏にも作成・配信する予定です。

## 働き方改革の今 研修もeラーニング

先生方へのICT研修にも、力を入れていきます。特に最近では、セキュリティ研修の充実を図っており、一昨年度から広教のeラーニング教材「事例で学ぶ学校情報セキュリティ」を導入しました。

働き方改革が進む今、集合しての研修の時間を確保することが難しくなっています。eラーニング教材なら、すべての先生が自分の好きな時間で学べます。久留米市で必修の事例を指定していますが、自主的に必修外の事例も受講する先生もいます。

久留米市は、文部科学省の「教員のICT活用指導力調査」でも「情報活用基礎となる知識や態度について指導する能力」が高い結果となっています。これからも、子どもの「伴走者」として、先生方とともに学び続けていきたいと考えています。

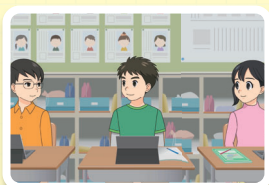
# 進むGIGA環境

## 保護者と一緒に学んでほしい情報モラル

GIGAスクール構想も第2フェーズに入ろうとしています。この構想は「子供を主語」にした活用と授業の転換を目指しています。子供たちが情報社会と上手に付き合うためには、情報活用能力が必要です。子供たちの学ぶ環境は学校と家庭であり、保護者の協力が欠かせません。ぜひご家庭でも、親子で一緒に情報モラルについて学ぶ機会を設けてほしいと思います。

### 保護者と一緒に学んでほしい事例アニメをご紹介します

#### 学校での使い方 を共有しよう



##### C-31 協働学習

対象学年：小3～小6、中高



##### C-34 作品の著作権

対象学年：小1～小4



今はこんなふうに勉強してるんだね！

タブレットパソコンを使って勉強するって楽しい！

#### お家での使い方 について話し合おう



##### H-02 時間についての約束

対象学年：小1～小6、中高



##### A-22 スマホで課金

対象学年：小3～小6、中高

親子で認識に違いがないか、話し合って確認しよう

家でも勉強にタブレットパソコンを使うよ



### Point!

Netモラルは保護者専用アカウントを発行して、**ご家庭でもご視聴いただけます。**ぜひご相談くださいませ。

### Webアンケートのご協力をお願いいたします

#### 事例で学ぶNetモラル(自社製品)に関するWebアンケートを実施いたします。

さらなる製品開発とサービス向上に努めてまいります。Webアンケートは3分程度で回答可能です。「もっとこんな機能がほしい」「こんな使い方をしています」など、みなさまの声を是非お聞かせください。アンケート結果は後日メールでお知らせいたします。

※こちらのアンケートは匿名で実施いたしますので、個人が特定されるようなことはございません。  
※時期によってご回答いただけない場合がございます。ご了承ください。

ご回答はこちら！



<https://forms.gle/SGUAJSYLtmRqz3tL9>

学校の情報セキュリティ研修をeラーニングで効率化！

### 「事例で学ぶ 学校情報セキュリティ」

事例  
で  
学ぶ

学校情報  
セキュリティ

システムリニューアルでさらに使いやすくなりました！

- 教室や職員室など、どこからでも実施できます
- 管理者は、現場の先生に合わせて研修内容を簡単に設定できます
- 管理者は、学習履歴や進捗状況が把握できます

詳しくは  
Webで！



<https://www.hirokyou.co.jp/iss/>



広教ニューズレター は、広教が提供するサービスの最新の活用事例や、情報活用能力の育成に取り組んでいる自治体の先生の声をお届けしています。

Web版もオープンしてより気軽に閲覧いただけるようになりました。

広教ニューズレター

検索

広島県教科用図書販売株式会社

〒733-0032 広島県広島市西区東観音町15番12号  
TEL 082-291-1088 FAX 082-291-1082  
URL <https://www.hirokyou.co.jp>  
E-mail [info-hiroshima@hirokyou.co.jp](mailto:info-hiroshima@hirokyou.co.jp)